

令和5年度 保育園の自己評価

令和 6 年 3 月 31 日

園長 山本 昭子

(1) 令和 5 年度総括

少子高齢化の不安を抱える中、兄弟つながりの出産、育休明けの 0 歳児が多く良かった。有難い事だがいつかは少子高齢化の波を受ける日があると思ひ、保育の質の向上、保育内容の充実に努めた。

(2) 評価課題への取り組み

① 保育理念・基本方針

年度初めに職員会議で園内研修をして再確認した。職員間で共有し保育に活かされていた。

② 保育計画（年間・月案・週案・日案）

方針や目標に添って計画を立て、日々保育を行った。計画通り実施した。

③ 個別記録・保育要録

研修や職員間で個々の情報を共有し、記録に残すことができた。

④ 年間行事（保育参観）

年間保育計画を基に予定していたすべての行事を実施した。保育参観はひとクラスごとに行い、我が子の保育園での姿が良く見られたと保護者から好評だった。

⑤ 保健・安全・環境

5 月からコロナが 5 類に移行し少し安心したが、引き続き手洗い・うがい・消毒を徹底した。安全面は、門から飛び出そうとする園児が居り、時間を決めて施錠するようにした。環境は、花いっぱい心をかけた。

⑥ 子育て支援（育児・発達障害・保健）

障害のある園児を特別支援して成長を見守った。他児と関わりながら過ごすことにより成長が著しい。保護者に感謝された。

⑦ 食育活動（行事食・菜園・アレルギー）

行事食、菜園、アレルギー食、共に充実した活動を行った。アレルギー食は、保育士・看護師・調理師・保護者と連携をはかりながら行ったため、大きな改善が見られた。

⑧ 職員会議（自己評価・研修報告・服務規律）

年度初めに全職員参加の職員会議を行い、合わせて園内研修を実施。内容は「服務規律」「禁止事項」の読み合わせと再確認。各職員が参加した研修報告は、資料として全職員に回覧・周知し、研修の効果が見られた。

⑨ 保育士の研修体系（宮崎市保育会研修部・自主研修）

宮崎市保育会が実施する研修(キャリアアップ研修含む)はすべて参加することが出来た。WEB 研修も増え、自分の都合のいい時間に園内で受けることが出来、自主研修に参加する職員が増えた。

⑩ 地域との関わり

大塚台秋祭り、福祉祭り、生目南公民館まつりなど、地域で行われる催しには、園児と共に積極的に参加し喜ばれた。大塚台の地区社協、地域協議会、地域まちづくり推進委員会の役員を受け会議に参加し、地域との関わりを深めた。

⑪ 父母の会との連携（保護者会議）

毎年9月に保護者会を実施し、行事への協力をお願いする。会費の予算審議、意見や要望も聞くことにしている。保護者会や年度末のアンケートなどで、父母の会との連携はとれている。

⑫ 苦情解決制度（苦情解決委員会）

苦情解決委員を設置し、HP や重要事項説明書等で知らせた。アンケートの結果や日々の保育で気付くように心掛けた。

(3) 令和 6 年度の目標、課題

コロナは落ち着いたものの、コロナの影響で少子高齢化が加速した。出生数が過去最低で園児減が懸念される。職員、保育の質の向上を計り、ひまわり保育園の強みをアピールし園児増につなげたい。より良い保育を進めながら、事件や事故の無いよう全職員で職務に当たる。